

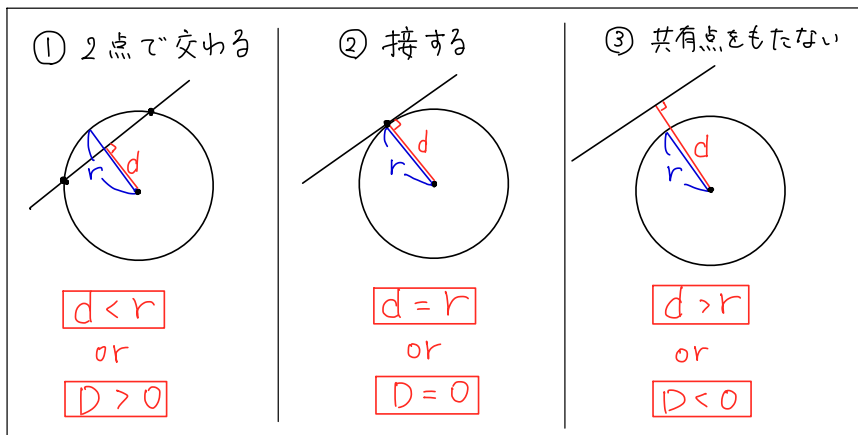
円と直線の位置関係と2つの円の位置関係

⑩ 円と直線の位置関係

円Cの半径を r とし、円Cの中心と直線 l と距離を d とする。

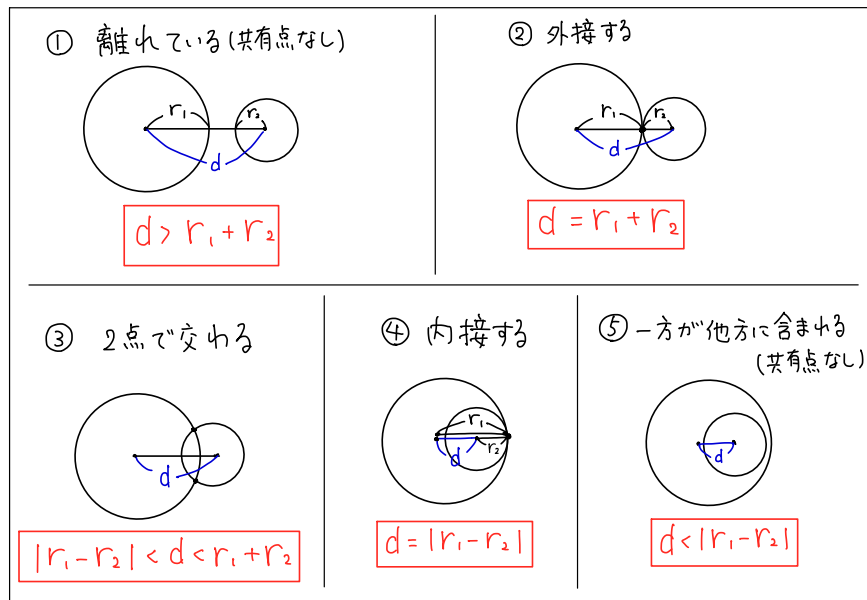
また、 l とCの方程式から、 x (or y)を消去して得らゆる

2次方程式の判別式を D とする。



⑪ 2つの円の位置関係

円 C_1, C_2 の半径をそれぞれ r_1, r_2 とし、2円の中心間の距離を d とする。



2つの円の位置関係は、上の5パターンあり、中心間の距離 d と半径の和 $r_1 + r_2$ と半径の差 $|r_1 - r_2|$ との大小関係で決まる。

